

主要産地における令和3年産水稻の生育状況等について 第5報 (6月25日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和3年6月25日)

道府県	生育状況等		(参考)	
	区分	育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等		技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)
北海道	(生育)	<p>【生育状況(6月15日現在)】</p> <p>(全道) 生育は平年並に進んでいる。(北海道農政部 6月21日付)</p> <p>(空知) 生育は平年並であり、分けつの発生も良好である。(空知総合振興局 6月21日付)</p> <p>(石狩) 生育は平年並(石狩振興局 6月21日付)</p> <p>(後志) 遅速は±0。(後志総合振興局 6月21日付)</p> <p>(胆振) 生育は平年並。(胆振総合振興局 6月21日付)</p> <p>(白根) 6月4日の強風により、生育は一時的滞りしたが平年並みに推移している。(日高総合振興局 6月21日付)</p> <p>(渡島) 茎数は平年に比べやや少ないが生育は平年並である。(渡島総合振興局 6月21日付)</p> <p>(檜山) 生育は概ね平年並。(檜山振興局 6月21日付)</p> <p>(上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月21日付)</p> <p>(留萌) 生育は、平年並に進んでいる。(留萌総合振興局 6月21日付)</p> <p>(オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>北海道地方の向こう1か月の平均気温は、日本海側と太平洋側で平年並が高く、オホーツク側でほぼ平年並の見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北海道地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁札幌管区気象台)</p>	<p>・「なつぼし」及び「ゆめびかり」を中心とする品種構成となっており、主要品種に大きな変化はみられない。</p> <p>(農林水産省 3月23日)</p> <p>(出典資料は以下と同じ)</p>
		<p>・6月21日現在の生育は、全般的に平年を上回った。(青森県 6月24日付)</p> <p>【6月20日現在】</p> <p>(黒つ) 生育は平年並。</p> <p>・「つがるロマン」は草丈が36.1cmで平年より0.6cm短く、株当たりの茎数は15.1本で2.1本少なく、葉齢は7.9葉で0.2葉多かった。</p> <p>・「青天の霹靂」は草丈が39.3cmで平年より0.4cm短く、株当たりの茎数は15.2本で0.7本少なく、葉齢は7.2葉で0.1葉多かった。</p> <p>・「まっしぐら」は草丈が43.4cmで平年より1.6cm長く、株当たりの茎数は17.4本で0.5本少なく、葉齢は7.4葉で平年並であった。</p> <p>(十和田)</p> <p>・「まっしぐら」の生育状況は草丈が47.6cmで前年より4.5cm長く、株当たりの茎数は14.9本で6.4本多かった。</p> <p>(地独) 青森県産産技術センター-農林総合研究所 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「つがるロマン」及び「まっしぐら」の2品種で9割を占める品種構成で、近年、収量水準の高い「まっしぐら」が増加傾向にあり令和3年産も同様の傾向になるものと考えられる。</p>
青森	(生育)	<p>【6月15日調査】</p> <p>・6月15日現在の生育(県平均)は、草丈31.7センチメートル(平年+1.6cm)、茎数は304本/平方メートル(平年比119%)、葉数は7.0葉で平年より0.3葉多い。(岩手県 6月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。県のオリジナル品種である「蔵河のしずく」が、耐冷性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。</p>
		<p>【6月20日現在】</p> <p>・平均気温は高く推移し、日照時間は平年より多かったことから、生育は平年よりやや進んでいる。(宮城県農政部 6月22日付)</p> <p>(仙台) (移植「ひとめぼれ」) 草丈及び茎数は前年を上回る生育となっている(宮城県仙台農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(美里) 生育は順調に推移している。(宮城県美里農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>【6月20日現在】</p> <p>(大河原) 生育は概ね順調に経過。(大河原農業改良普及センター 6月22日付)</p> <p>(重理) 生育量(草丈、茎数、葉齢)は概ね平年並みに回復してきている。(宮城県亶理農業改良普及センター 6月23日付)</p> <p>(気仙沼) 管内の生育調査は生育は概ね平年並以上となっており、いずれも中干しを開始する時期に達している。(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月22日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっており、近年、収量水準の高い「萌えみのり」が増加傾向にある。</p>
岩手	(生育)	<p>【6月15日調査】</p> <p>・6月15日現在の生育(県平均)は、草丈31.7センチメートル(平年+1.6cm)、茎数は304本/平方メートル(平年比119%)、葉数は7.0葉で平年より0.3葉多い。(岩手県 6月24日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
		<p>【6月10日調査】</p> <p>(鹿角) 6月10日調査 草丈26.6cm(平年比101%)、㎡当たり茎数は148本(平年比77%)、葉数は6.0葉(平年差-0.3)</p> <p>(秋田) 6月10日調査 「あきたこまち」の生育は草丈が25.7cm(平年比99%)、葉数が108本/㎡(平年比64%)、葉数が6.2葉(平年比-0.3葉)。(6月11日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
宮城	(生育)	<p>【6月18日現在】</p> <p>・平垣部「はえぬき」の生育は、平年と比べて草丈は並、茎数は多く、葉数、葉色は並となっている。(山形おひさ極めろ！米づくりプロジェクト本部 6月18日付)</p> <p>(東南山村) 「雪若丸」とも平年値(指標値)に比べ草丈は短い。茎数は「つや姫」では平年並、「雪若丸」では少なく、葉数は平年並。葉色は「つや姫」では平年並、「雪若丸」はやや濃くなっている。(村山農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(西置賜) 草丈は平年より長く、茎数はほ場間の差が大きく、葉数は平年並～やや多く、葉色は平年並～やや濃い状況。(西置賜農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(西村山) 生育は順調(西村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(酒田・飽海) 全般に平年並の生育が確保されている。(酒田農業技術普及課 6月21日付)</p> <p>(鶴岡田川) 草丈は平年並、茎数は平年並～やや多く、葉数は平年よりやや多く、目標茎数を確保している。(庄内総合支庁 農業技術普及課 6月18日付)</p> <p>(東南置賜) 草丈は平年並み～やや長く、茎数はやや多～多く、葉数は平年並みの状況。(置賜農業技術普及課 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
		<p>【6月10日調査】</p> <p>(鹿角) 6月10日調査 草丈26.6cm(平年比101%)、㎡当たり茎数は148本(平年比77%)、葉数は6.0葉(平年差-0.3)</p> <p>(秋田) 6月10日調査 「あきたこまち」の生育は草丈が25.7cm(平年比99%)、葉数が108本/㎡(平年比64%)、葉数が6.2葉(平年比-0.3葉)。(6月11日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
秋田	(生育)	<p>【6月18日現在】</p> <p>・平垣部「はえぬき」の生育は、平年と比べて草丈は並、茎数は多く、葉数、葉色は並となっている。(山形おひさ極めろ！米づくりプロジェクト本部 6月18日付)</p> <p>(東南山村) 「雪若丸」とも平年値(指標値)に比べ草丈は短い。茎数は「つや姫」では平年並、「雪若丸」では少なく、葉数は平年並。葉色は「つや姫」では平年並、「雪若丸」はやや濃くなっている。(村山農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(西置賜) 草丈は平年より長く、茎数はほ場間の差が大きく、葉数は平年並～やや多く、葉色は平年並～やや濃い状況。(西置賜農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(西村山) 生育は順調(西村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(酒田・飽海) 全般に平年並の生育が確保されている。(酒田農業技術普及課 6月21日付)</p> <p>(鶴岡田川) 草丈は平年並、茎数は平年並～やや多く、葉数は平年よりやや多く、目標茎数を確保している。(庄内総合支庁 農業技術普及課 6月18日付)</p> <p>(東南置賜) 草丈は平年並み～やや長く、茎数はやや多～多く、葉数は平年並みの状況。(置賜農業技術普及課 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
		<p>【6月10日調査】</p> <p>(鹿角) 6月10日調査 草丈26.6cm(平年比101%)、㎡当たり茎数は148本(平年比77%)、葉数は6.0葉(平年差-0.3)</p> <p>(秋田) 6月10日調査 「あきたこまち」の生育は草丈が25.7cm(平年比99%)、葉数が108本/㎡(平年比64%)、葉数が6.2葉(平年比-0.3葉)。(6月11日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。</p>
山形	(生育)	<p>【6月18日現在】</p> <p>・平垣部「はえぬき」の生育は、平年と比べて草丈は並、茎数は多く、葉数、葉色は並となっている。(山形おひさ極めろ！米づくりプロジェクト本部 6月18日付)</p> <p>(東南山村) 「雪若丸」とも平年値(指標値)に比べ草丈は短い。茎数は「つや姫」では平年並、「雪若丸」では少なく、葉数は平年並。葉色は「つや姫」では平年並、「雪若丸」はやや濃くなっている。(村山農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(西置賜) 草丈は平年より長く、茎数はほ場間の差が大きく、葉数は平年並～やや多く、葉色は平年並～やや濃い状況。(西置賜農業技術普及課 6月23日付)</p> <p>(西村山) 生育は順調(西村山農業技術普及課 6月22日付)</p> <p>(酒田・飽海) 全般に平年並の生育が確保されている。(酒田農業技術普及課 6月21日付)</p> <p>(鶴岡田川) 草丈は平年並、茎数は平年並～やや多く、葉数は平年よりやや多く、目標茎数を確保している。(庄内総合支庁 農業技術普及課 6月18日付)</p> <p>(東南置賜) 草丈は平年並み～やや長く、茎数はやや多～多く、葉数は平年並みの状況。(置賜農業技術普及課 6月21日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
		<p>【6月10日調査】</p> <p>(鹿角) 6月10日調査 草丈26.6cm(平年比101%)、㎡当たり茎数は148本(平年比77%)、葉数は6.0葉(平年差-0.3)</p> <p>(秋田) 6月10日調査 「あきたこまち」の生育は草丈が25.7cm(平年比99%)、葉数が108本/㎡(平年比64%)、葉数が6.2葉(平年比-0.3葉)。(6月11日付)</p> <p>(秋田県農林政策課)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「雪若丸」は増加傾向にある。</p>
福島	(生育)	<p>【6月1日現在】</p> <p>・農業総合センターの生育調査では、草丈は本部(郡山市)が長く、会津地域(会津坂下町)が短く、浜地域(相馬市)が平年並から長くなっている。茎数は、各地域とも少なくなっている。主産葉数からみた生育は、各調査場所ともに平年並からやや遅くなっている。(福島県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「天のつづみ」が増加傾向となっている。</p>
		<p>【6月9日現在 対平年遅速】(茨城県農業総合センター-農業研究所作物研究室 6月17日付)</p> <p>(4月30日移植) 「あきたこまち」 1日早い、「コシヒカリ」 平年並、「ふくまるSL」 1日早い。(5月10日移植) 「コシヒカリ」 2日遅い。</p> <p>【6月7日現在 対平年遅速】(茨城県農業総合センター-農業研究所水田利用研究室 6月16日付)</p> <p>(4月27日移植) 「あきたこまち」 1日遅い、「ふくまるSL」 3日遅い、「コシヒカリ」 2日遅い。(5月7日移植) 「コシヒカリ」 平年並。</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ニカメイガ、綿葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あさひの夢」及び「ふくまる」が増加傾向となっている。</p>
茨城	(生育)	<p>【6月1日現在】</p> <p>・農業総合センターの生育調査では、草丈は本部(郡山市)が長く、会津地域(会津坂下町)が短く、浜地域(相馬市)が平年並から長くなっている。茎数は、各地域とも少なくなっている。主産葉数からみた生育は、各調査場所ともに平年並からやや遅くなっている。(福島県 6月8日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は平年並が高い見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>東北地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁仙台管区気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「天のつづみ」が増加傾向となっている。</p>
		<p>【6月9日現在 対平年遅速】(茨城県農業総合センター-農業研究所作物研究室 6月17日付)</p> <p>(4月30日移植) 「あきたこまち」 1日早い、「コシヒカリ」 平年並、「ふくまるSL」 1日早い。(5月10日移植) 「コシヒカリ」 2日遅い。</p> <p>【6月7日現在 対平年遅速】(茨城県農業総合センター-農業研究所水田利用研究室 6月16日付)</p> <p>(4月27日移植) 「あきたこまち」 1日遅い、「ふくまるSL」 3日遅い、「コシヒカリ」 2日遅い。(5月7日移植) 「コシヒカリ」 平年並。</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>東北地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ニカメイガ、綿葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成で、近年、収量水準の高い「あさひの夢」及び「ふくまる」が増加傾向となっている。</p>

	生育状況等		
栃 木	<p>【早稲栽培6月8日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生育は、ほぼ前年並みであるが、地域によって差が大きい。</li> </ul> <p>(栃木県 6月10日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>・ニカメイガ、繭葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(北関東) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「なすひかり」及び「とちぎの星」が増加傾向にある。</p>
千 葉	<p>【6月15日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月第1～3半旬の気温は高く日照時間も多く推移し、生育は回復している。</li> <li>「ふさおとめ」「ふさこがね」の幼穂形成期は平年並に迎えている。</li> <li>「コシヒカリ」「粒すけ」の幼穂形成期は6月21日頃からとなる見込み。</li> <li>全般的に茎数は平年並、草丈はやや長く、葉色は平年並に推移。</li> </ul> <p>&lt;生育進度(平年比)&gt;</p> <p>「ふさおとめ(4月20日播)」並、「ふさこがね(4月20日播)」並、「コシヒカリ(4月20日播)」並、「コシヒカリ(5月1日播)」並、「粒すけ(4月20日播)」並。</p> <p>(千葉県 6月17日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>・「コシヒカリ」「ふさこがね」及び「ふさおとめ」を中心とする品種構成となっている。</p>	
新 潟	<p>(上 越) 出穂期は平年並みの見込み。(上越農業普及指導センターほか 6月17日付)</p> <p>【6月21日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コシヒカリの生育は、県全体では指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は並、茎数はやや多い、葉数の進みは並。地域差、ほ差が大きい状況。</li> <li>コシヒカリでは、分けつの発生が旺盛で茎数が急激に増加している。</li> <li>新之助は、草丈、茎数、葉数の進み、葉色ともに指標値並の状況。(新潟県農林水産部 6月22日付)</li> </ul> <p>【6月21日現在】</p> <p>(岩 船) 草丈 指標値並～やや長、茎数・多、葉数のすすみ：やや早。(村上農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(新発田) 好天が続く指標に比べ生育は早い。水稲の出穂期は各品種とも平年並と予想される。(新発田農業普及指導センター6月22日付)</p> <p>(新 潟) 出穂期は、早生で平年並、中生で平年より1日程度遅い見込み。(新潟県農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(三 倉) コシヒカリは指標値に比べ「草丈並、茎数並、葉数並、葉色やや濃い」(三条農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(長 岡) 本年のコシヒカリの出穂期は、平年並で前年より1日早い予想。(長岡農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(魚 沼) 指標値比較「草丈：やや短い 茎数：多 葉数：並 葉色：並」(魚沼農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(南魚沼) 草丈：やや短い、葉色：並、茎数：やや少ない、葉数：並(南魚沼農業普及指導センター 6月22日付)</p> <p>(柏 崎) 「コシヒカリ」(指標値比)草丈・並、茎数・並、葉数・並。</p> <p>「こしいぶき」(指標値比)草丈・長い、茎数・並、葉数・やや多い(柏崎農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(十日町) 草丈は並、茎数は多い、葉数の進みはやや早い(十日町農業普及指導センターほか 6月21日付)</p> <p>(糸魚川) 調査地域の平均では、草丈はやや短、茎数はやや多、葉数は並、(糸魚川農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(佐 渡) 多くのほ場で「生育過剰」となっている。(佐渡農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「こしいぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収量水準の高い「ゆきん子舞」、「つきあかり」及び「みずほの輝き」が増加傾向にある。また、県では新品種「新之助」(晩生種)の作付拡大を推奨している。</p>
富 山	<p>【本田での生育状況】(6月22日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コシヒカリ</li> <li>平年に比べ、草丈、葉色は並み、茎数はやや少なく、葉齢は遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は平年並みとなっている。今後、平年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期は平年より3日程度遅い7月14日頃と見込まれる。</li> <li>てんこもり</li> <li>平年に比べ、草丈はやや短く、茎数、葉齢、葉色は並みとなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は平年並みとなっている。今後、平年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期は平年より1日程度遅い7月13日頃と見込まれる。</li> <li>富富富</li> <li>近年に比べて、草丈はやや短く、茎数はやや少なく、葉色は並み、葉齢は遅れている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、茎数、葉色は近年並みとなっている。今後、近年並みの気温で推移した場合、幼穂形成期は近年より3日程度遅い7月16日頃と見込まれる。</li> </ul> <p>(富山県 6月22日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも品質が安定している「てんこもり」及び「富富富」が増加傾向にある。</p>
石 川	<p>【6月18日調査】(葉齢展開)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コシヒカリが平年比-0.7～+1.0葉(県平均±0.0葉、加賀：+0.1葉、能登：-0.3葉)となっており、平年に比べ加賀地域で並～1日早く、能登地域で1～2日程度遅い。</li> <li>ゆめぴろげは平年比-0.2～+0.8葉(県平均：+0.1葉、加賀：±0.0葉、能登：+0.2葉)となっており、加賀地域は平年並、能登地域は1日程度早い。</li> <li>ひやくまん穀は近年比-1.0～+1.0葉(県平均：±0.0葉、加賀：-0.4葉、能登：+0.4葉)となっており、加賀地域では近年及び前年に比べ3～4日程度遅く、能登地域で近年に比べ3～4日程度早く前年に比べ3～4日程度遅い。</li> </ul> <p>(石川県農林総合研究センター 6月21日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ゆめぴろげ」を中心とする品種構成であるが、近年県オリジナル新品種の「ひやくまん穀」が増加傾向にある。</p>
福 井	<p>【6月17日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>好天が続いたことから、茎数が増加している。</li> </ul> <p>直播コシヒカリ、ハナエチゼン、あきさかりは目標茎数に達したところがある。</p> <p>(福井県ほか 6月18日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>・いもち病の発生が「多い」と予想される。(北陸) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ハナエチゼン」を中心とする品種構成である。なお新品種である「いちほまれ」が増加傾向にある。</p>
長 野	<p>【農業試験場八重森圃場(標高348m)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移植後30日の生育は、主稈葉数は「あきたこまち」でやや遅れているが、「コシヒカリ」、「風さやか」は平年並である。草丈はいずれの品種も平年並である。茎数は「あきたこまち」「風さやか」で平年よりやや多く、「コシヒカリ」で平年並である。</li> </ul> <p>(長野県農業試験場 6月21日付)</p> <p>【農業試験場原村試験地(標高1,017m)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移植後20日の生育は、いずれの品種も主稈葉数はやや前進、草丈は平年並、茎数は少ない傾向にある。</li> </ul> <p>(長野県農業試験場 6月16日付)</p> <p>【伊那米総合試験地(伊那市美郷)】(6月15日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>移植後30日の生育状況は、平年に比べて「コシヒカリ」は、草丈は概ね平年並(98%)で、茎数はやや多く(104%)となっている。「ひとこまち」は草丈短く、茎数も少ない傾向にあるが、他の品種は草丈はやや短いものの茎数は平年を上回っている。</li> </ul> <p>(上伊那農業農村支援センター 6月15日付)</p> <p>【安曇野市豊科 標高550m 5月15日植(雑穀)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月4日現在、水稲の生育進度は、概ね平年並と思われる。(松本農業農村支援センター 6月7日付)</li> </ul> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>・トビロウコンカ、ニカメイガ、繭葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」「あきたこまち」を中心とする品種構成に大きな変化はない。県のオリジナル品種として「風さやか」の導入を推進している。</p>
滋 賀	<p>【5月31日時点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5月中旬～下旬の最高気温が低く、日照時間も少なく推移し、5月中旬以降は初期の分けつが少なく、生育は平年より遅れている。</li> <li>草丈は、「みずかがみ」、「コシヒカリ」ともに平年より長かった。</li> <li>茎数は、両品種ともに平年より少なかった。</li> <li>移植後の日平均気温は平年並に経過したが、5月第4～5半旬にかけて降雨が多く、寡照に経過したことから初期生育は遅慢で、分けつは極めて少なかった。</li> </ul> <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月11日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は平年並か少ない見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>・トビロウコンカ、ニカメイガ、繭葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付)</p>	<p>・「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「日本晴」及び「みずかがみ」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。</p>

	生育状況等		
兵 庫	<p>【5月27日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>(県北) <ul style="list-style-type: none"> <li>・移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</li> </ul> </li> <li>(生育) <ul style="list-style-type: none"> <li>(県南) <ul style="list-style-type: none"> <li>・苗の生育は順調である。</li> </ul> </li> <li>(兵庫県 6月7日付)</li> </ul> </li> </ul>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トビイロウンカ、ニカメイガ、綿葉枯病の発生が「多い」と予想される。(近畿) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンヒカリ」「ヒノヒカリ」「キヌヒカリ」及び「山田錦」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。(岡山県 5月27日付)</li> </ul> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「アケボノ」、「ヒノヒカリ」、「あきたこまち」、「コンヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。</li> </ul>
広 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イネミズゾウムシ、綿葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「コンヒカリ」「あきたこまち」及び「にこまる」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</li> </ul>
高 知	<p>【5月24日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、全体的に茎数は少なく、生育がやや遅れている。</li> <li>・南国そだち <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年に比べ、草丈はやや高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。</li> </ul> </li> <li>・コンヒカリ(4月6日植え) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年に比べ、草丈は高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。</li> </ul> </li> <li>・よさこい美人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・前年に比べ、草丈は高く、茎数が少なく、生育進度(葉齢)はやや遅れている。</li> </ul> </li> <li>・コンヒカリ(4月14日植え) <ul style="list-style-type: none"> <li>・平年に比べ、草丈は高く、茎数が少ないものの、生育進度(葉齢)は平年並まで推移している。</li> </ul> </li> </ul> <p>(高知県農業技術センター 6月4日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月19日～7月18日】</p> <p>四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。降水量は平年並が多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>四国地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁高松地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イネミズゾウムシ、綿葉枯病、いもち病の発生が「多い」と予想される。(四国) (農林水産省 6月9日付)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コンヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。</li> </ul>
福 岡	<p>【6月15日現在】</p> <p>(1) 早生水稲(夢つくし、コンヒカリ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・田植後、低温の影響で初期生育はやや遅れ、平年に比べて、草丈は低く、茎数は少ない。出穂率は平年並み～やや遅い7月中旬の見込み。</li> </ul> <p>(2) 普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月中旬～6月上旬植えは、田植後の多雨と日照不足により、軟弱徒長気味の生育となっている。麦収穫後の田植も始まり、平地の「夢つくし」は6月上中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月下旬が最盛期となる見込み</li> </ul> <p>(福岡県農業総合試験場 6月15日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「ヒノヒカリ」が減少傾向、「元気つくし」が増加傾向となっている。なお、県では今後新品種「爽りつくし」の拡大を推奨している。</li> </ul>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>九州北部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州北部地方の3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁福岡管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ヒノヒカリ」「森のくまきん」及び「コンヒカリ」を中心とする品種構成に、大きな変化はない。</li> </ul>
宮 崎	<p>【作物の生育状況(5月中旬)】</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月26日)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「み系358」への作付誘導が進められている。</li> </ul>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月26日～7月25日】</p> <p>九州南部地方の向こう1か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。降水量は平年並か多く、日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>九州南部地方の向こう3か月の気温は平年並か高い見込み。降水量は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・早期栽培は「コンヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。近年、早稲栽培において収量水準の高い「なつほのか」が増加傾向であり、「コンヒカリ」との価格差も小さいことから今後も移行が進むことが予想される。</li> </ul>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。  
注2：令和3年6月25日 14時時点での取り纏め。  
注3：更新箇所は赤字で表している。

引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月21日)、  
農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月21日)、  
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月21日)、  
農作物生育状況調査の概要 令和3年6月15日現在(北海道留萌振興局 6月21日)、  
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月21日)、  
作況調査報告(6月20日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月21日)、  
稲作生産情報第4号(要約)(青森県 6月24日)、  
農作物技術情報第4号要約(岩手県)(6月24日)、  
令和3年産水稲の生育状況について(6月21日現在)(宮城県 6月22日)、  
令和3年産仙南稲作情報(第2号)(大河原農業改良普及センター 6月22日)、  
仙台稲作情報2021(第4号)(宮城県仙台農業改良普及センター 6月23日)、  
令和3年産美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月22日)、  
令和3年産気仙沼・南三陸稲作情報第5号(宮城県気仙沼農業改良普及センターほか 6月22日)、  
令和3年稲作情報第3号(宮城県亶理農業改良普及センター 6月22日付)、  
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月25日閲覧)、  
米づくり技術情報第5号(山形おいしき極める!米づくりプロジェクト本部 6月18日)、  
つや姫雪若丸通信第2号(山形おいしき極める!米づくりプロジェクト村山地域本部ほか 6月23日)、  
西おきたま米づくり情報No.7(山形おいしき際立つ!米づくりプロジェクト置賜地域本部実践班ほか 6月23日)、  
稲作だより第7号(最上総合支庁農業技術普及課 6月14日)、  
酒田鮑海のつや姫・雪若丸情報第3号(酒田農業技術普及課 6月14日)、  
東南おきたま米づくり情報No.7(山形おいしき極める!米づくりプロジェクト置賜農業技術普及課 6月21日)、  
稲作だより第6号(西村山農業技術普及課 6月26日)、  
酒田・鮑海米づくり情報第6号(酒田農業技術普及課 6月21日)、  
おいしい米づくり情報第8号(庄内総合支庁 6月18日)、  
主要な農作物の生育情報令和3年度第3号(福島県農林水産部 6月8日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月17日)、  
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所 6月16日)、  
令和3(2021)年度水稲生育診断予測事業速報No.2(栃木県 6月10日)、  
水稲の生育と当面の対策第3報(千葉県 6月17日)、  
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 6月22日)、  
岩船米生育速報(6月21日現在)(村上農普及指導センター 6月21日)、  
コンヒカリ生育情報第2号(魚沼農業普及指導センター 6月10日)、  
令和3年産水稲生育速報No.3並びに水稲技術情報No.4(新発田農業普及指導センター 6月22日)、  
稲作速報No.3(新潟農業普及指導センター 6月21日)、  
FAX稲作情報No.5(三条農業普及指導センター 6月21日)、  
稲作情報No.4(長岡農業普及指導センター 6月21日)、  
コンヒカリ生育情報第3号(魚沼農業改良指導センター 6月21日)、  
南魚沼産コンヒカリ生育速報No.3(6月17~21調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月22日)、  
十日町地域稲作生育速報(令和3年6月21日)(十日町農業普及指導センターほか 6月21日)、  
稲作管理情報第4号(柏崎農業普及指導センター 6月21日)、  
令和3年産「上越地域米」栽培技術情報No.5(上越農業普及指導センターほか 6月17日)、  
令和3年度糸魚川売れる米づくりコンヒカリ生育情報No.3(糸魚川農業普及指導センター 6月21日)、  
令和3年度稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月21日)、  
TACS情報第5号(富山県 6月22日)、  
令和3年産水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-4号)(石川県農林総合研究センター 6月21日)、  
稲作情報No.7(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月18日)、  
令和3年作物技術普及情報第9号(松本農業農村支援センター 6月7日)、  
農業試験場水稲試験圃の生育状況(令和3年)(長野県農業試験場 6月21日)  
水稲高標高試験圃の生育状況(令和3年)(長野県農業試験場 6月16日)、  
伊那米総合試験地水稲奨励品種決定ほ生育状況(上伊那農業農村支援センター 6月16日)、  
令和3年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月11日)、  
令和3年度兵庫県農業気象技術情報No.2(6月情報)(兵庫県 6月7日)、  
令和3年度病害虫発生予報第3号(岡山県病害虫防除所 5月27日)、  
令和3年度における早期水稲の生育状況(5月24日時点)(高知県農業技術センター 6月4日)、  
福岡県の主な農産物の生産情報(福岡県 6月15日現在)、  
令和3年度病害虫発生予報第1号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月26日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月17日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月17日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月17日気象庁)、  
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月17日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月17日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月17日広島地方気象台)、  
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月17日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月17日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月17日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月25日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月25日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月25日気象庁)、  
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月25日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月25日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日広島地方気象台)、  
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月25日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月25日福岡管区気象台)、  
九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月25日鹿児島地方気象台)、

令和3年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月9日)  
令和3年産水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月23日)